

チラシ・冊子等のデザイン／作成
振込用紙付きチラシ作成等
受注をしています。
詳しくはひだまり
マルシェまで
お問合せ
下さい。

特定非営利活動法人Annakaひだまりマルシェ



〒379-0222 群馬県安中市松井田町松井田564

TEL:027-384-3131 FAX:027-384-3130

MAIL:annaka-hidamari@kem.biglobe.ne.jp

HP:<https://lunarumi0923.wixsite.com/annaka-hidamari>

FB:<https://www.facebook.com/Annaka.hidamari/>



HP



FB

2019 Annual Report

2019年度 年次報告

N P O 法人
A n n a k a
ひ だ ま り
マ ル シ エ
2 0 1 9



子どもも大人も、歳を重ねても、病を患っても、
障がいがあっても、国籍が違ってても。

この街で、あなたがひとりの大切な人として
「あなたらしく」暮らせますように。



目次

p 1	目次
p 2	実施事業紹介
p 3-4	事業報告「ファミリー・サポート・センター事業」
p 5-6	事業報告「コミュニティカフェ事業」
p 7-8	事業報告「3.11事業」
p 9-10	スタッフから皆さまへ / 会員募集について



実施事業紹介

● ファミリー・サポート・センター事業

ファミリー・サポート・センター事業	本来業務である会員相互援助活動。センター業務・会員管理・マッチング・その他会員へのサポート等を行う。
子育てサポーター養成講座開催 (スキルアップ講座の開催)	相互援助活動に関する講座の開催。会員以外の方にも、広く参加者を受け入れている。
会員交流会（意見交換会）	主に依頼を受ける提供会員に向けた交流会を開催。サポートするにあたっての思いや問題点等を共有し、より良いサポートの実現を目指す。
子ども・親子イベントの開催	夏休みや冬休みなど、子どもたちの長期休業中に体験型のイベントを開催。
フリーペーパー発行	子育てに関するフリーペーパー。 2019年度より、年2回予定で発行。誌名『ENTO!』

● コミュニティ事業

コミュニティカフェ運営	ランチ営業及び、テイクアウト弁当の製作、カフェスペースの貸し出し等を行う。
イベント出店	広報活動も兼ね、開催意義に賛同するイベント等への出店を行う。
市民活動支援	市民活動拠点として、カフェスペースのシェアや講習会の開催などを行う。
委託販売	手作り雑貨や地産地消商品の委託販売を実施する。

● 3.11事業

子どもたちの健康に関する事業	子どもたちの暮らす環境中にあるリスクを過小評価せず、その健康に注視し続けていくために事業を実施。 年度末に集積したデータを広く一般と共有する報告会を開催。
土壌測定事業	子どもたちの暮らす環境中にあるリスクを過小評価しないために、現況について調査する土壌測定事業を実施。
情報発信・相談業務	子どもたちの健康に関する情報発信を実施。 各種相談にも対応。

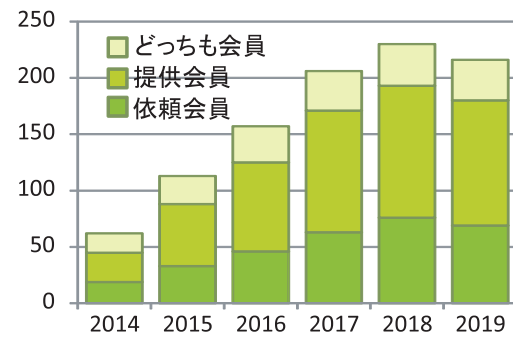
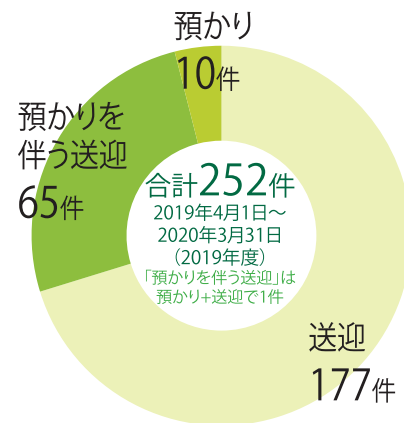
ファミリー・サポート・センター事業

安中市委託事業

2014年度より、群馬県補助事業「あんなか・ミニ・ファミリー・サポート・センター」として事業を開始した『ファミリー・サポート・センター事業』は、2017年度より安中市の委託事業となり、「安中市ファミリー・サポート・センター」となりました。

ファミリー・サポート・センターとは、子育てを助けてほしい方と子育てを助けた方がそれぞれに会員登録をし、センターがマッチングの仲介をすることで、子育てを会員相互で助け合う事業です。

依頼できる内容は、子どもの一時的な預かりや塾や学校への送迎が主ですが、安中市ファミリー・サポート・センターでは送迎(預かりを含む送迎)依頼の割合が約96%を占めています。



	依頼会員	提供会員	どちらも会員
2014年度	19	26	17
2015年度	33	55	25
2016年度	46	79	32
2017年度	63	108	35
2018年度	76	117	37
2019年度	69	111	36

(単位:人)

職業としてのベビーシッター等とは異なり、地域の住民どうしの支えあいのシステムが「ファミリー・サポート」であり、「相互援助活動」と言われるゆえんです。

◆おもちゃの広場

『子育てサポーター養成講座』等の託児では、「おもちゃコンサルタント」による、たくさんの素敵なおもちゃで遊べる「おもちゃの広場」を行いました。「おもちゃの広場」とは、全国のおもちゃコンサルタントが「グッド・トイ」を利用して開催する、おもちゃや遊びを通して、人と出会い、ふれあい、育ちあう「遊びの場」です。

こんなおもちゃをご用意しています。(一例)



【きのこのこのこ】
くるくる回すことで
指と手首を使います。
機能が低下しがちな
お年寄りの方にも。



【カラームカデ】
くるくる、くねくね。
腹ばいの子はついて行って、
歩ける子は引っ張って。
シンプルで頑丈なおもちゃ。



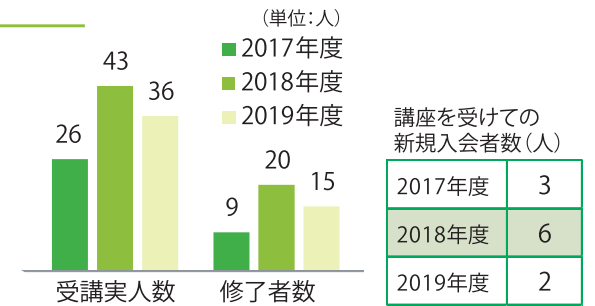
【どんぐりきのこ】
斜面をとことこと歩きます。
ゆっくりとした動きが
なんともかわいらしい。



◆主な主催企画

『子育てサポーター養成講座』

安中地域の子育てを地域人材でサポートする力をはぐくむ講座として、2017年度より毎年開催しています。基本的には安中市ファミリー・サポート・センター提供会員に向けた講座ですが、広く一般参加者も募集することで、新たな人材開拓の場としても位置付けています。



参加者からの声(抜粋)

「子どものことを考えながら勉強ができました。」
「今まで大人のばかりで、子どもや乳児の場合は初めてでした。」(救命訓練を受けて)
「保育の現場から実例を持った話で有意義だった。」

2019年度 講師一覧(敬称略/講座順)

成田小百合(新島短期大学コミュニティ子ども学科准教授) / 安中消防署 / 岸織江(保育アドバイザー) / 安中市子ども課 / 佃益美(認定こども園原市赤心幼稚園長) / 横山功(ふるしき王子) / 佐藤美和子(安中市立松井田小学校栄養教諭) / 廣田幸子(群馬パース大学看護学科准教授) / 長嶋完二(ながしま小児科院長) / 安中市ファミリー・サポート・センター

『子育てサポーター研修』

子育てサポーター養成講座修了者を対象とした研修です。初開催となる2019年度には、研修旅行として埼玉県和光市を拠点とされている『特定非営利活動法人わこう子育てネットワーク』様にうかがい、ホームスタートを始めとする和光版ネウボラについて勉強してきました。



子ども・親子ワークショップ/イベント

夏休みの絵画宿題を先生と一緒に作成する『絵画教室』を始めとし、『子ども寺子屋』『手作りワークショップ』など子どもやその親が楽しく学んだり体験したりしながら、安中市ファミリー・サポート・センターを知ってもらうきっかけとして開催しています。



子育てに関するフリーペーパー「ENTO!」の作成・配布

2018年創刊の「子育てする皆さんを皆さんと一緒にゆるーく応援する、ちょっと座って片手間に読むフリーマガジン」を副題にした、無料配布の冊子です。ファミリー・サポート・センター事業の周知を図る中で、現代に飽和する子育て情報提供とは一線を画した「多分知らなくてもいい知恵袋的知識」をそっと差し出し、現役お母さんの迷いや苛立ち、喜びへの共感を大切にすることをコンセプトとし創刊しました。市内保育施設、小学校を始め、公共施設やお店などに配置していただいております。年1~2回発行。

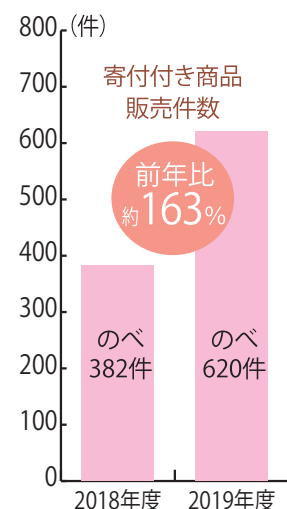


設置・配布をしていただける方、施設・お店の方ぜひ団体連絡先までご連絡・お問合せください。

コミュニティ事業

◆カフェ部門

ひだまりカフェは、“食べる”を通して“つながり”をつくるコミュニティカフェです。



◆イベント出店

主に安中市・高崎市を中心に開催されるイベントに参加しており、オリジナルカレーやオムライスの販売をしながら、ひだまりマルシェ自体や事業内容を紹介しています。カレーやオムライスの販売は、募金百貨店プロジェクトの一環としての役割も担っており、「社会貢献について考えるきっかけ」や「身近な社会課題の共有の場・気付きの場」になるよう、イベント会場のお客様との対話を大事にしなが、食べる・買うだけではなく付加価値を同時に提供しています。



◆委託販売

地産地消・自然食品・フェアトレード・手作りをテーマにした食品・布小物・アクセサリ・雑貨等を販売しています。生産・製作・消費を地域内で循環させる取り組みは、日常はもちろん、災害時や非常時にお互いを支えあうことにもつながると考え、日ごろから、生産者・製作者と消費者の顔が見える地域のつながりづくりの場としての役割も担っています。



◆市民活動部門

あんなか兄弟姉妹会「ケセラセラ」から皆さまへ

あんなか兄弟姉妹会「ケセラセラ」とは、精神疾患を患う兄弟姉妹のピアサポートの場所として立ち上がった団体です。

まず、無事に1年間活動ができましたことをとてもありがたく思うと同時に、助けてくださった皆様に御礼申し上げます。おかげさまで、私たちの安中兄弟姉妹会ケセラセラは、確実に「皆さんの居場所」となりつつあると実感しております。

先日当事者の方のお話をうかがい、その中での「人間になりたい」という言葉に、私は衝撃を受けました。その方は病気になったことで、自分が以前の自分と同じ人間に思えなくなってしまっている、ということでした。そのことから、障がいの有無関係なく、気軽に話したり情報を共有できる、人間同士の関係・つながりが持てる場所が必要なのだと思います。

だからこそ、当事者会や家族会と限定的なものではなく、カレッジのような、誰でもご参加いただける「ごちゃ混ぜ感」が必要なのではと思っています。



ささえあいカフェ「smile a smile」から皆さまへ

ささえあいカフェ「smile a smile」とは、認知症などの家族を介護している家族介護者(ケアラー)の方々のピアサポートの場所として立ち上がった団体です。

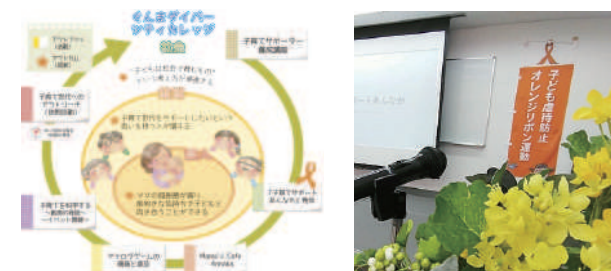
ひだまりマルシェさんのカフェをシェアさせてもらって、月に一度認知症カフェを初めて2年半ほどになります。認知症の家族の介護をしている私たちにとって、この月に一度のひだまりさんでのおしゃべりが、ストレス発散であり、明日から頑張ろうという力になります。私はひだまりマルシェさんとの出会いがあったから、認知症カフェを開くことができたのだと思っています。ホッとできる場所、それが私たちスラスマの癒しの場所です。これからもどうぞよろしくお願いたします。



子育てサポートあんなか

子育てサポートあんなかは、安中市ファミリー・サポート・センターが主催する子育てサポーター養成講座の全日程を終了された“子育てサポーター”の皆さんの活動の場所として、2019年度、発会しました。

今後は、子育て中のお母さんを後ろ支えすることを目的に、活動していく予定です。



ひだまりカフェでは「群馬県共同募金 募金百貨店プロジェクト」に参加しています。

募金百貨店プロジェクトとは?

ご協力:群馬県共同募金会 坂本さん

Q 「共同募金会募金百貨店プロジェクト」とはどのようなものですか。

A 企業・団体・お店の本業を生かして、商品やサービスの売り上げ等の一部をご寄付いただく仕組みです。お客さまに負担なく、お店などの販売促進と社会貢献に繋がり、それが地域の福祉課題解決のための財源になるという、3者WinWinWin(三方良し)の関係を目指しています。

Q どうして群馬県で、募金百貨店プロジェクトを始めたのですか。

A 最初に山口県が始められたのですが、その担当の方に話を伺う機会があり、そのなかで、「地域密着の企業や商店と一緒に地域をより良くする」という理念が魅力的と感じ、群馬県でも発足しました。この募金百貨店プロジェクトに協力してくれている企業・お店で働かされている方々、そのお店からものをご購入する方々、みんなに関心をもってもらうきっかけとなることを願います。

Q 募金されたお金はどのように使われているのですか。

A 群馬県共同募金会に申請をされた、子育て支援・高齢者支援・外国人支援等の地域福祉事業を行っている団体・法人へ助成という形で活用させていただいています。助成の分野に関し、特定の団体等への指定はできませんが、募金百貨店プロジェクトに協力していただく企業・お店の希望をおうかがいし、ご希望された分野の事業などを行っている団体・法人に助成を行っております。

Q 募金百貨店プロジェクトを通して、どんな社会・地域になればよいと思いますか。

A 小銭があるから…じゃあ。と、何気なく募金して…、できるならばそれだけで終わらずに、その先で、この募金は「どんなことに使われている?」「募金って何のためにあるの? するの?」という関心をもってもらいたいと思っています。きっとその先に、私たちの住む地域の課題はどんなものであるのかが見えてくる。募金・寄付の先になにがあるのか、ぜひ関心を持っていただけたらと思います。

3.11事業

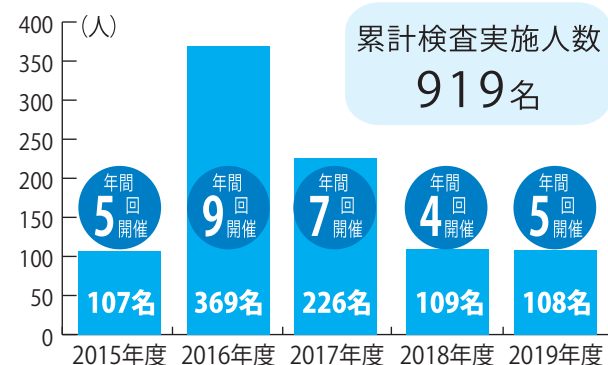
パルシステム連合助成事業

◆3.11事業について

3.11事業は、私たちAnnakaひだまりマルシェ設立のきっかけとなった東日本大震災(以下「3.11」)に向き合い続けていく、ということを実践している法人にとっての理念事業です。

3.11は、「子どもたちのために何が出来るのか」ということを改めて突き付けられた出来事であったと、私たちは考えています。

事業の実施を通して、人ひとりの力は小さくても、思いを同じくする人が集まることで、その力がしなやかな強さを帯びていくということを年々実感しています。



◆賛同団体・協力者の皆さまのご紹介



生活協同組合パルシステム群馬
政策推進本部 政策推進部 竹本さん



↑2019年度福島の子どもたち補完プログラムの様子

当生協は2016年度から継続してAnnakaひだまりマルシェの甲状腺エコー検査に関わっております。きっかけは、パルシステムグループの生協でNPO法人などの団体と連携して甲状腺エコー検査を実施していることを知り、群馬の組合員からも放射能による健康への影響を不安視する意見がありました。同じようなことができないかと模索する中でAnnakaひだまりマルシェの甲状腺エコー検査実施の情報を得たことにより、連携を開始し、3.11事業への協賛や検査実施日の運営ボランティアとして役職員が参加しております。多くの組合員が受検しており、必要な取り組みであることを実感しております。

生協は地域貢献を目的に、様々な社会課題への取り組みをしております。子ども食堂などへの青果提供、自然災害被災地への支援、原発に関する意見書提出や署名活動など。今後も人々の「たすけあう」想いを大切にしながら社会課題へ取り組んでまいります。

おもちゃコンサルタント 黒岩 勢津子



にやーにやー(ハバ社)

2019年度より、会場に「おもちゃの広場」を併設させて頂くことで、待ち時間が楽しい遊びの時間になっていると感じています。私たちスタッフも楽しんで運営していますので、気楽にご参加ください。

星野 由紀

縁あって、3年程前からAnnakaひだまりマルシェの甲状腺エコー検査のお手伝いをさせていただいております。

原発事故から9年が経ちますが、いまだにお子さんの被ばくを心配する親御さんが沢山いる事に、あらためて祖父母世代として、原発を容認して来た責任を痛感しております。また、この様な検査によって、親御さんの不安を解消すべく努力している、Annakaひだまりマルシェのお手伝い出来る事に感謝しております。

検査は一度だけより、毎年定期的に受ける事をお勧めしています。とてもアットホームな雰囲気ですので、もっともっと多くの方が来て頂けると良いと思います。

◆受検者の声

小さい頃から受けて経過をみています。もう上の子が高校生になりました。状況を理解してこの検査を受けることはとても意味があると思います。身体の変化で見えにくい所が出てくるようで、前回はのう胞がなくなった(見えなくなっただけでも)状態でしたが、子どもの理解があるうちは受けてみたいと思います。



放射線のことはずっと心配していましたが、症状がないのに病院に行っていないのかわからなかったので、このような検査を親子で受けられて良かったです。スタッフの方も親切で、検査報告会にも参加してみたいです。

◆これまで製作したチラシ



2016年度チラシ



2018年度後半チラシ(はがき)



2019年度チラシ



土壌測定チラシ



2016年度報告会チラシ



2017年度報告会チラシ



2018年度報告会チラシ



2019年度報告会チラシ
(新型コロナウイルス感染拡大により中止)

◆3.11事業にご協力いただいている皆さん



ひだまりスタッフより、皆さまへ



代表理事
神戸 るみ

6200人余りの犠牲者を出した阪神淡路大震災をきっかけにNPO法人の団体数は増えていきましたが、NPO法(特定非営利活動促進法)が立法化され、成立から約20年経った現在も、私たちが「NPO(非営利活動)とは何ですか?」と問われる場面が少なからずあります。

企業活動であれば「利益を上げる」という明確な活動の目的がありますが、NPOではそれぞれの団体が目指す社会像を掲げ、それに少しでも近づぐために日々、事業を実施していきます。「目指す社会像」という大きすぎる命題が、NPO活動自体をわかりづらくしているのかもしれない、そんな思いもあり、私たちが日ごろ何をしているのか、という等身大の活動をお伝えするために、この年次報告書を作成しました。

子どもたちが成人する頃にはNPOが就職先として候補に挙がるような社会であってほしいな、そんな願いを込めて、自らが掲げた「目指す社会像」の大きさに圧倒されながら、しかし絶望することなく、今後も活動に邁進して参ります。

これからも、どうぞよろしく願いいたします。



ひだまりカフェキッチン・
会計業務担当
上原 雅代

【食べる】を辞書で引くと「①食物を噛んで飲み込む。②生きていく。生活する。」とあります。だから「食べることは生きること」なのですね。そして、体は「食べたもの」でできているので、栄養が偏れば体調に変化が現れます。私がひだまりマルシェでランチを作るのは、おひとりおひとりのお腹を満たすためです。そしてもう一つ、心を満たすお手伝いをするためでもあります。

ひだまりマルシェのカフェは、御利用された方が、お腹も心も満たせる場所を目指しています。いらっしゃるお客様は、スタッフと対話しながらお食事される方が多数で、私たちはおひとりおひとりの心配事や悩みをお伺いする機会がたくさんあります。私たちのカフェが、一般的なカフェと違う点は、悩みや心配事を抱える方の心に寄り添いながら、悩みや心配事を解決するための情報や手段をお伝えしたり、一緒に考えたりするカフェだという点です。同じ悩みの方たちをつなぎ、ピアサポートのお手伝いをしたり、社会貢献したいと思う方の活躍の場と一緒に作ったり提供したりすることが、カフェ営業の先の目的としてあります。その目的は、ひだまりカフェを御利用された方たちの支えあいの輪・生き甲斐の発見・居場所となって、更には社会貢献活動の拡大につながり、NPO法人としての私たちの活動目的と合致します。

カフェのメニューは、地産地消・無農薬食材・無化学調味料をなるべく利用しています。それらの食材を利用し提供しながら、併せて紹介することで「食に関する社会問題・課題」を、皆さまと共に考える場にもしています。これは今後も大事にしていきたい部分です。ひだまりカフェにぜひいらしてください。お腹と心を満たすために。

そしてその先に、私たちの仲間となって頂くことに繋がれば、更に嬉しく思います。



フリーペーパー「ENTO!」
編集長
齋木 亜弓

本来、このスペースで私は団体の一社員として、ひだまりマルシェの事業を分かりやすくお伝えすべきなのだと思います。しかし、私自慢の得意技は“的外れ”であり、私ごとが団体の核心に触れることは控えるべきだと思います。

しかし間違いを恐れずに私の考えをひとつ記すならば、私が主に携わっているファミリー・サポート・センター事業で、子育てをする皆さまや地域の方々にはぜひ得ていただきたいものは「つながり」だと思っています。

このご時世、ご家族以外を頼ることに不安を感じられる方も多くいらっしゃると思います。ただ、その理由のひとつに「地域にどんな人がいるのか知らないから」というのがあると思うのです。だから、まずは後ろ盾としてファミリー・サポート・センターを利用していただき、知らない「地域の方」を知っていただきたい。きっかけにしてほしいと思います。

私もひだまりマルシェに携わってから、おかげさまでたくさんの方の想いに触れ、知らないことを知ってきました。まず知ること、手を差し伸べることも、伸ばされた手をとるということも、やっと選択肢のひとつとして浮かんでいくものなのかなと感じています。そして「つながり」はきっと、その先に自然に生まれるものだと思うと同時に、そうであれば良いと願っています。

ひだまりマルシェは私たちがうしろ支えして下さる 会員の皆さんを募集しています。

ひだまりマルシェは、私たちが後ろ支えして下さる皆さんを募集しています。
みなさんと一緒に、私たちのまちを、私たちの手で、今よりも暮らしやすい場所にしていきたいと思っています。



いろいろな“うしろ支え”の形があります。

◆個人の方へ

- 🌱 **会員として登録する** 賛助会員：年間1口3000円 / サポーター会員：年間1口1000円
- 🌱 **イベントに参加する** ひだまりマルシェ主催のイベントにご参加いただくことも、後ろ支えしていただけることにつながります!
- 🌱 **ひだまりカフェを利用する** ひだまりカフェでご飲食いただいたり、物品販売品をご利用いただくことも、後ろ支えに。
- 🌱 **ボランティアとしてお手伝いする** ちょこっとボランティアさんを随時募集しています。発送作業やフリーペーパーの配布など、お手伝いいただけることも大きな後ろ支えに!

◆団体の方へ

- 🌱 **団体賛助会員として登録** 年間1口5000円
- 🌱 **共働パートナーとして事業を実施する** 地域が抱える課題解決を目的とした事業を協働パートナーとして共に実施していただける企業・団体を随時募集しています。

◆振込口座

郵便振替 00120-8-601377
特定非営利活動法人Annakaひだまりマルシェ

【他銀行よりお振込みの場合】

ゆうちょ銀行
店番号：019 預金項目：当座
店名：〇一九 口座番号：0601377
特定非営利活動法人Annakaひだまりマルシェ
※他銀行よりお振込み頂く場合、お手数ですが
氏名・ご住所をお知らせ下さい。

◆会員の種類

- 賛助会員(個人) : 年間 一口3,000円
- 賛助会員(団体・法人) : 年間 一口5,000円
- サポーター会員(個人) : 年間 一口1,000円

電話：027-384-3131 FAX：027-384-3130
メール：annaka-hidamari@kem.biglobe.ne.jp
(水曜除く平日9時～17時 / 土曜9時～15時)

[団体名称]

特定非営利活動法人Annakaひだまりマルシェ

[所在地]

〒379-0222 群馬県安中市松井田町松井田564
TEL 027-384-3131
FAX 027-384-3130
MALE annaka-hidamari@kem.biglobe.ne.jp



MAP

